令和７年度「ふれあい福祉まつり」開催される

事業を終えて

12月14日(日)、令和7年度「ふれあい福祉まつり」が開催されました。

今年は、公民館の大がかりな改修工事と重なったため、例年好評の模擬店も、数を大きく減じての開催となりました。

1階フロアでは、ボランティア活動パネル、在宅介護支援センター職員や、北部保健センターによる相談コーナー、民生児童委員の薬物撲滅PRコーナー、そしてお休み処。

2階講堂では、「オール古和釜ミニコンサート」が行われ、地域の小・中・高校の生徒及び団体関係者による素晴らしいパフォーマンスが披露されました。

最後に、例年のように古和釜中生徒によるボランティア活動と、今回初試みの岩佐さん・鈴木さんのお二人による取材活動が行われましたことを特記して、関係者の皆様に御礼を申し上げたいと存じます。

福祉まつり実行委員長　河上　博

古和釜小学校音楽部

古和釜中学校吹奏楽部

古和釜高校吹奏楽部・声楽部

アルファモニック吹奏楽団

楽遊集さくら太鼓

アーティスト
LiCaCo さん

アンサンブルすずめ

地域の声

元気なまち☆ふるさと松が丘

松が丘地区町会自治会連合会
会長　武田久志

松が丘地区には４２の町会・自治会がありますが、現在、松が丘地区町会自治会連合会への加入は残念ながら１１の町会・自治会となっています。

行事としては、８月には「ふれあい☆ふるさと祭り」９月「合同敬老祝賀会」１１月は「元気なふるさと松が丘（運動会）」の三大事業を開催し、また、防災訓練や各団体の事業に参加協力を行っています。船橋市内高齢化率１番ですが、元気なまち☆ふるさと松が丘です。

「町会加入のメリットは？」等、ネット・ニュースなどで取り沙汰されていますが、平穏の「向こう三軒両隣」で、日頃から「お互い顔の見える」ことが、万が一の事態が発生した場合や、一人暮らしが多くなっている昨今では、大きな役割を果たすものと思われます。これからも一緒にふるさと松が丘を盛り上げましょう。

写真　左：松が丘在宅介護支援センター職員による相談風景
写真中央：古和釜中学校ボランティアによる接客
　　―おいしさも倍増します
写真　右：民生委員の薬物撲滅ＰＲを取材する中学生記者さん

松が丘地区社協の各部会の活動紹介パネル

古和釜中学校生徒による記者通信

地域交流の良い機会

古和釜中学校２年２組
岩佐　透馬さん

12 月 14 日、僕はこの日ふれあい福祉まつりにボランティアとして行きました。

まず、初めにこのボランティアをして気づいたことがあります。それはお祭りのスタッフの方たちについてです。

僕が公民館に着くとたくさんの方があいさつをしてくれて、最初はとても緊張していた僕も段々と緊張がとけました。そして、来場された人たちにも優しい笑顔で接しており、相手も笑顔になっていました。来場者の気付かないところで協力をしながらお祭りを作り上げていてとても尊敬できました。

次に取材したことを紹介します。

イベントを観覧されていた方は、福祉まつりに来たのはコンサートが実施されるからということでした。コンサートの演奏だけでなく、その中で披露されたダンス隊のダンスが非常に上手だったのがとても印象に残っているようでした。

また、視察にいらしていた市の職員の方からは、生き生きとした高齢者の方たちが協力し合っていて、運営されていました。また、一体感もあり良いものとなっていました。そして、参加する側も参加しやすい雰囲気になっていましたと、おっしゃっていました。

僕は、お祭りを通じて演奏に参加した中高生と地域の方たちとが交流できる場として、このようなふれあい福祉まつりは良い機会となっていると感じました。

松が丘の良さを実感

古和釜中学校３年３組
鈴木　美結さん

私は「ふれあい福祉まつり」のボランティアに参加しました。

私は福祉まつりで、介護相談窓口を担当する職員の方にインタビューを行いました。それまで私は、介護とは「高齢者を直接助けること」だと思っていましたが、窓口の方の「私たちは、介護をしている家族の心を守る仕事もしています」という言葉に驚きました。

インタビュー中、ある家族の方が相談にいらっしゃいました。職員の方は相手の言葉を否定せず、ゆっくりと相手を尊重しながら聞いていました。相談を終えた方が、安心したような表情で帰っていく姿を見て、窓口は「情報の提供」だけでなく「心の休息場所」としての役割があるのだと分かりました。

この経験を通して、福祉とは一方向の助け合いではなく、複雑な悩みや不安を一つずつ解きほぐしていくことなのだと学びました。今はまだ、私に専門的な知識はありません。しかし、悩んでいる人の話をていねいに聞くことなら今日からでもできると思いました。将来、誰もが孤立せずに暮らせる社会を作るために、まずは身近な人の変化に気づける自分でいたいと思いました。

私は福祉祭りのボランティアをして自分が知らなかったことまで知ることができてよかったです。介護相談窓口とは今まで介護だけについての窓口だと思っていましたが、インタビューで介護相談だけでないと聞いて驚きました。24 時間電話が繋がるのでいつでも相談したい時に介護以外のことでも電話ができ、安心して豊かな生活を送れると思いました。そんな船橋市松が丘の地域の良さを知ることができた日になりました。